

研究対象者への説明文書（ホームページ掲載用）

当院において2017年4月1日～2018年12月31日までに9階西病棟に入院され心電図モニタを装着された患者さんへのお知らせ

研究課題名：生体情報モニタのアラームに関する実態調査（承認番号 2455 の研究継続課題）

研究期間：倫理委員会承認日～2018年12月31日

1：研究の対象

当院では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、9階西病棟に入院され心電図モニタを装着された患者さんを対象に調査研究を実施します。

2：研究の目的・方法

本研究では、当院入院中の患者さんの心電図モニタのアラームの誤作動がどのくらいの頻度で起こっているのか調査し安全に管理できることを目的としています。病棟では看護師が常にモニタ画面やアラームをチェックし、その都度対応し、記録を残しています。既存の情報のみを用いる研究であり個人が特定されうる情報は匿名化したのちに解析するため個人情報洩れることはありません。治療介入を伴わない既存情報のみを用いた情報であるため新たな負担やリスクはありません。また経済的負担、謝礼もありません。研究成果は論文や学会等で発表いたします。研究に関するデータは論文との発表から5年後に破棄いたします。

3：研究に用いる情報の種類

心電図モニタのアラームデータ等

4：お問い合わせ先

研究にデータが使用されることを希望されない方は下記までご一報くださいますようお願いいたします。研究に同意いただけない場合でも、何の不利益もありません。

本研究に対して何かご不明な点や、ご質問がございましたら下記までご連絡ください。ご希望があれば他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

岡山県倉敷市松島 577

木場 美里（川崎医科大学附属病院 9階西病棟 看護師）

電話：086-462-1111（内線 23740）

木村 純代（川崎医科大学附属病院 9階西病棟 看護副師長）

電話：086-462-1111（内線 29140）

Email：ryosyusumi@hp.kawasaki-m.ac.jp

5：利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社など）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究は、本研究を実施する関係者に資金等の受け入れはございません。